

止まり木



1月8日発行

第31号

大阪市立野田中学校

うさぎとかめ



あけましておめでとうございます。



いよいよ今日から3学期が始まりました。みんなはどんな年末年始を過ごしたでしょうか？例年になくいい天気が続き、ついつい外に出ていきたくなりませんでしたか。家族や友達ときっと楽しい時間を過ごしたことだと思います。締めくくりの3学期も有意義に過ごしてほしいと思います。今日の始業式でお話しした「うさぎとかめ」の話を簡単に紹介します。

うさぎとかめ

『あるところに、とっても足のはやいうさぎがいました。うさぎは、動物の仲間とかけっこをするのが大好き。いつも競争をして楽しんでいました。ある日、そこにかめがやってきました。かめは、ゆっくりゆっくり歩いてきました。うさぎはかめを見て、びっくり。「かめくんったら、なんて足がおそいの？」うさぎがそう言うと、かめはむっとしました。「それじゃあ、ぼくとかけっこをしようよ。きっと負けないよ」かめが誘うと、「いいとも、ぼくが負けることなんて絶対にないよ」そしてかけっここの当日。位置についた二匹は、始まりの合図でかけっこを始めました。びゅん！と、うさぎが走っていき、あっという間に見えなくなりました。かめはというと、ゆっくり、ゆっくり、歩いています。「かめくんのやつ、追いつきっこないよ。」うしろをふりかえったうさぎは、まったくかめの姿が見えないのであくびをしてしまいました。「よし、あそこでおひるねしよう！」と、大きな木の下で、すやすやと眠りはじめてしまいました。その頃、かめは、ゆっくり進み続けていました。1時間たち、2時間がたち日も暮れてきています。かめは木かげで眠っているうさぎを見つけました。「こんなところでうさぎくんが寝ている。よし、このあいだにゴールしよう」さて、うさぎが目をさますと、あたりはまくら。「しまった！」あわててかけっこにもどろうとしますが、なんと今にもかめがゴールしそうではありませんか！うさぎは追いつこうと力いっぱい走ります。でも、間に合いませんでした。結局、勝負はかめの勝ち。「ほらね。ぼくが勝つって、言ったでしょう」「ごめんよ、かめくん」うさぎがかめをばかにすることは、もう二度とありませんでしたとさ。『おしまい。』

という話です。自分の力を過信して相手を見くびったり、油断してはいけないという教訓として語られてきました。では、うさぎはなぜ勝てなかったのでしょうか？足が速いことは悪いことではありません。しかし、常に全力疾走を続けることはできません。必ず休憩が必要な時もあります。うさぎはその休憩を計画的に行えば、負けることはなかったと思います。そして、かめは一歩一歩着実に進んできました。だから、もうこれでいいのでしょうか。校長先生はかめはかめでさらに一歩の歩幅を広くすることや足の回転を早くする努力をすればもっと早く前に進めるようになるのではと思います。みんなはうさぎ・かめ、どちらのような人生を送っていますか。一気に前に進む、自分の好きなことにはいくらでも夢中になれる。または大きなことはできないけれどひとつひとつ着実に取り組んできた人。

みんなそれぞれだと思います。

よく、弱点を克服しようと言われますが、校長先生は人はいいところも悪いところも含めていろんな人がいるということをまず、知ってほしいと思います。正しく人を認めるということです。

そのうえで、弱点を減らし長所をさらに伸ばせるような生き方をみんなにはしてほしいと願っています。2026年は午年（うまどし）。情熱と勢いが高まり、大きな飛躍のチャンスとなる年と言われています。さあ！3学期も元気に頑張っていきましょう。

保護者の皆さん・地域の皆さん

新しい年が始まりました。子どもたちとともに、全力で駆け抜けてまいります。今年度も今まで同様、ご支援、ご協力の程、よろしくお願ひいたします。